

（1）動物愛護管理行政への登用

① 認知度の向上に向けた取組

《令和7年度取組内容および結果》

1. 普及啓発物（パンフレット・ポスター）の作成及び送付

パンフレット「国家資格愛玩動物看護師」、ポスター「知っていますか？国家資格愛玩動物看護師」等

- ・ 都道府県・政令市・中核市の動物愛護管理部局（129自治体）、関係団体等へ作成次第送付。
- ・ 動物愛護週間、ぼうさい国体等各種イベントでの配布。今後、インターペット、世界獣医師会大会で配布予定。

2. 説明会の開催

愛玩動物看護師の動物愛護・適正飼養分野における活躍推進説明会

【開催日時】 2026年2月13日（金）14：00～16：00

【開催方式】 オンライン（youtube配信）

【対象】 動物愛護管理行政担当者および関係機関関係者等

【内容】 制度・カリキュラム説明、雇用例紹介、クロストーク

【講師】

青木 博史氏（日本獣医生命科学大学 教授）『獣医保健看護学の教育・研究 大学卒業後の進路の現状 進路開発の視点』

藤田 和成氏（熊本県動物愛護センター参事）『行政分野における愛玩動物看護師の活躍について』

金子 亜裕美氏（川崎市動物愛護センター所長）、香山 真輝氏（同センター動物専門技術作業職員）『行政施設の愛玩動物看護師について』

【当日視聴者数】 約80名

アーカイブ配信：2026年3月18日（水）～

<https://www.youtube.com/watch?v=wweMYazFCEk>

②自治体での登用の方策の検討・実施

《令和7年度取組内容および結果》

1. 自治体登用のモデルケースに向けた取組の推進

雇用実態調査の実施

【対象】都道府県、政令市、中核市、政令市・中核市除く市町村

【雇用状況】

	雇用している	雇用していない
都道府県 (n=46)	8	38
政令市 (n=20)	4	16
中核市 (n=61)	7	54
全体 (n=127)	19	108

政令市、中核市等を除く市町村で回答のあった1,109団体での雇用実績はなし。

【業務内容】

- ・ 収容犬猫の飼養管理
- ・ 獣医療（治療や予防等）の補助
- ・ 収容動物の譲渡及び馴化
- ・ 窓口及び電話対応等

【雇用形態】

- 正規職員として採用（免許保有者を採用） 0%
- 正規職員として採用（正規職員が免許を取得） 10.5%
- 会計年度任用職員として採用（免許保有者を採用） 47.4%
- 会計年度任用職員として採用（採用者が免許保有者） 47.4%

【採用枠の設定への取組】

- 全体127団体のうち39自治体（**31%**）が「**採用枠の設定に取り組んでいる**」という結果（ただし、会計年度任用職員として）。

【雇用のメリット】

- 獣医師の負担軽減。
- 子供（小学生等）への教育事業等の強化。
- 介護等が必要な動物への手厚いケア。犬や猫の取扱いを知っているため、動物へのストレスが少ない。
- 収容動物の感染症対策が強化され、健康状態が安定することで使用する医薬品費用が減少。
- 地域猫の手術において作業時間が短縮し、施術頭数の増加が可能。

【雇用にあたっての課題】

- 配属先が限定。
- 関係部署との連携や自治体内部の体制づくり。
- 制度の周知や雇用自治体の事例共有。
- 獣医師との役割分担等具体的な業務内容の共有。
- 財政的不安。

2. インターン制度の活用

自治体および愛玩動物看護師養成校へのヒアリング

【自治体からの主な意見】

- インターンの受け入れはあるが、採用へ直結しない（採用枠がないため）。
- インターンを受け入れたことで、愛玩動物看護師制度の理解醸成に繋がる。
- 会計年度任用職員枠で募集をかけたが応募がなかった。愛玩動物看護師の就職意向とのミスマッチがある。

【大学からの主な意見】

- 大学によっては、食品衛生監視員や環境衛生監視員等を取得可能。
- 学生がインターン先を個別に見つけてきている現状。
- 大学、自治体、各団体等のネットワークができると良い。
- 学生時代から、行政機関等の職業研究が必要。
- 動物愛護管理センターへの就職希望者は年に数人は必ずいるが、採用枠がネックであきらめる学生がほとんど。
- 学生を養成する大学側と採用意向や現場の実情を把握している自治体との情報交換が必要。

【養成所からの主な意見】

- 日頃から自治体の動物愛護管理行政がどのようなことを行っているか把握ができるとよい。そのためにもインターン制度が重要。
- 動物愛護管理センターへの就職希望者は入学時は多い。
- 会計年度任用職員の採用情報は年度末の募集となるため、希望者がいないケースがある。

(2) 民間企業における職域拡大

① 認知度の向上に向けた取組

《令和7年度取組内容および結果》

1. 普及啓発物（パンフレット・ポスター）の作成及び送付

パンフレット「国家資格愛玩動物看護師」、ポスター「知っていますか？国家資格愛玩動物看護師」等

- ・ 動物病院、関係団体、養成校等へ作成次第送付。
- ・ 動物愛護週間、ぼうさい国体等各種イベントでの配布。今後、インターペット、世界獣医師会大会で配布予定。

2. 説明会の開催

愛玩動物看護師の動物愛護・適正飼養分野における活躍推進説明会

【開催日時】 2025年12月25日（木）10：00～12：00(録画配信に変更)

【開催方式】 オンライン (youtube配信)

【対象】 民間企業および関係機関、動物園・水族館関係者等

【内容】 制度・カリキュラム説明、雇用例紹介、クロストーク

【講師】

佐伯 潤氏（日本獣医師会理事、帝京科学大学教授）『愛玩動物看護師-教育内容と活躍の場-』

高山 成泰氏（株式会社TYL 動物病院経営支援領域 渉外担当）『愛玩動物看護師を取り巻く環境変化と今後の展望』

佐藤 圭一氏（沖縄美ら島財団水族館管理センター 統括 沖縄美ら海水族館・館長、日本動物園水族館協会 会長・執行理事）

高橋 沙矢香氏（沖縄美ら島財団 附属動物病院主事）『沖縄美ら海水族館における愛玩動物看護師の活躍事例』

【アーカイブ配信】 2026年2月20日（金）～

https://www.youtube.com/watch?v=bnv_h1ztGmY

アーカイブ配信アクセス数：663回（3月14日時点）

(2) 民間企業における職域拡大

② 活躍機会の拡大に向けた検討・実施

《令和7年度取組内容および結果》

1. 新たな職域での雇用機会の創出

活躍が期待される職域について、企業へのヒアリング結果をもとに以下のとおり整理

活躍が期待される新たな領域	活躍の可能性
住宅・不動産関係 (ペット共生住宅等)	入居動物への日常のケア(爪切り、肛門腺絞り等)。 高齢ペット・持病のあるペットへの専門的な見守りサービス等の需要が見込まれる。
動物のグリーフケア関係	飼い主の不安や悲しみに寄り添ったケア等により人とペットとの生活をより豊かにする役割が期待。 起業・独立にも繋がる分野としても期待。
高齢者施設関係 (ペット共生型高齢者施設、 動物介在型高齢者施設等)	高齢者のQOL向上とともに動物のQOLの向上や終生飼養等にも愛玩動物看護師が貢献できる分野。
ペット関連用品開発・販売関係	製品開発(動物用医療用品メーカー等)における助言や、顧客(動物病院や飼い主)からの相談に対する助言での活躍が期待。

2. 社会課題の改善に向けた活動における愛玩動物看護師の付加価値の整理

社会課題に対する愛玩動物看護師の付加価値をヒアリング結果をもとに以下のとおり整理

付加価値	具体的な価値
「臨床現場からの視点」による 信頼性のあるサービスの提供	臨床現場の理解に基づく最適化：病院側と顧客(飼い主)の意を汲み取った対応が可能であるとともに、動物のライフステージに合わせた適切な対応が可能。
「動物版保健師」としての社会 課題への介入能力	多機関連携の「橋渡し」機能：多頭飼育問題や高齢者の飼育困難、ペット防災、学校飼育動物等の課題に対し、行政、福祉、動物等の間に立った役割を担うことが可能。 補助犬・ファシリティドッグの健康支援：健康状態を把握し、獣医療介入の必要性等の助言により、アニマルウェルフェアと活動の継続性を担保することが可能。
「飼い主とペットのQOL」を 支える専門的ケア	在宅や預かりでの介護支援の充実：高齢ペット等への獣医師の指示に基づく投薬や処置、褥瘡 ^{じくわ} 予防、終末期ケア等を担うことで、飼い主の精神的・身体的負担を軽減するとともに、ペットの終生飼養等のQOLに寄与。